

令和3年度瀬戸将棋文化振興協会 事業報告

(令和3年7月1日～令和4年6月30日)

1 普及啓発事業

- (1) 日本将棋連盟支部の登録(令和4年6月30日現在)
正会員 538名
(一般会員335名、女性会員201名、学生会員2名)
賛助会員 94口(60団体)
- (2) 第4回瀬戸こども将棋大会(令和3年11月6日)
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。
- (3) 「新春オンラインせと将棋ライブ2022」開催
1月9日(日)瀬戸市文化センターから配信(視聴者2,260人)
木村一基九段、室田伊織女流二段を招き、木村九段の対局、藤井竜王の対局を開設。藤井竜王が選んだおやつ等及び瀬戸焼の紹介。

2 広報・宣伝事業

- (1) ホームページリニューアル
・デザイン更新
・HPからの会員登録
・藤井聡太竜王への応援メッセージ受付等
- (2) 広報せとへの将棋関係情報の掲載

3 地元棋士応援事業

- (1) くす玉開き及び懸垂幕の掲出
 - ・令和3年 7月 3日(土) 棋聖防錆くす玉開き
 - ・令和3年 8月25日(水) 王位防衛くす玉開き
 - ・令和3年 9月13日(月) 叡王(三冠)獲得くす玉開き
 - ・令和3年 9月14日(火) 三冠獲得お祝い懸垂幕掲出(瀬戸信用金庫)
 - ・令和3年11月13日(土) 竜王(四冠)獲得くす玉開き

- ・令和3年11月15日（月）竜王（四冠）獲得お祝い懸垂幕掲出（瀬戸信用金庫）
- ・令和4年 2月12日（土）王将（五冠）獲得くす玉開き
- ・令和4年 2月14日（月）五冠獲得お祝い懸垂幕掲出（瀬戸信用金庫）
- ・令和4年 5月24日（火）叡王戦 防衛くす玉開き

（2）藤井聡太棋士応援コーナー開設

- ・令和4年3月18日（金）瀬戸信用金庫栄町支店において、応援コーナーを開設。「藤井聡太竜王の軌跡」と題し、平成28年10月プロ棋士となってから五冠を達成するまでの功績を時系列で展示。展示内容は、新聞記事や、新聞号外、功績をまとめたパネル、広報せと掲載記事、藤井竜王直筆の色紙や詰将棋、藤井竜王署名による免状、当協会作成の記念品等の展示。
- ・令和4年4月15日（金）来訪者への視認性を高めるため、瀬戸信用金庫栄町支店へ大型ラッピング看板を設置

（3）パブリックビューイング開催（瀬戸市と連携）

- ・令和4年 5月24日（火） 叡王戦 五番勝負 第3局
瀬戸市文化センター 文化交流館3階 和室

4 その他

（1）会員向け記念品の作成及び配布

- ・叡王獲得祝杯盃
- ・竜王獲得祝杯盃
- ・王将獲得祝杯盃

（2）陶磁器製品の活用提案について

- ・令和4年6月14日（火）瀬戸市の陶磁器製品の活用について、日本将棋連盟関西本部へ赴き井上慶太常務理事及び担当者に対し、企画提案を行った。

令和3年度 瀬戸将棋文化振興協会収支決算書 (令和3年7月1日～令和4年6月30日)			
【収入】			(単位：円)
項目	予算額	決算額	備考
会費	2,464,000	3,107,000	正会員 538名 (一般 335名・女性 201名・学生 2名) 賛助会員 94口
負担金	500,000	500,000	オンライン将棋ライブ(財団負担金)
補助金	500,000	500,000	オンライン将棋ライブ(瀬戸信用金庫地域振興協力基金)
事業協賛金	200,000	0	
寄付金	1,000	5,000	一般寄附(個人会員からの寄附)
事業収入	200,000	0	
雑収入	1,000	12	預金利息
繰越金	595,978	595,978	
合計	4,461,978	4,707,990	
【支出】			(単位：円)
項目	予算額	決算額	備考
謝礼	200,000	0	
報償費	500,000	449,350	会員記念品(叡王・竜王・王将祝杯盃)
消耗品費	200,000	10,000	オンライン将棋ライブ会場装飾花一式
印刷製本費	200,000	65,700	PRチラシ作成印刷代
食糧費	50,000	0	
手数料	200,000	507,673	HPサーバーレンタル代、HP更新料、懸垂幕作成及び設置費
備品費	100,000	0	
通信運搬費	400,000	136,654	郵便・宅配料金、電報料金等
委託料	1,300,000	1,388,000	応援放送料、棋士派遣料、オンライン配信費等
負担金	1,253,000	1,439,000	日本将棋連盟支部会費、愛知県支部連合会費、瀬戸市文化協会会費、まるっとM観光協会費等
雑費	58,978	159,760	応援コーナー展示用品、星取パネル代、クリアファイル等
合計	4,461,978	4,156,137	
		収入額－支出額	551,853